非核・いしかわ

2016 年 3 月 20 日　月刊第 212 号　発行／非核の政府を求める石川の会

事務局／石川民医連労働組合気付
〒920-0848 金沢市京町 28-8　TEL076-251-0014
郵便振替口座 00760-0-15689　会報込年会費 3000 円

非核五項目
① 全人類共通の課題として核戦争防止、核兵器廃絶の実現を求める
② 国是とされる非核三原則（つくらず、もたず、もちこませず）を厳守する
③ 日本の核戦場化へのすべての措置を阻止する
④ 国家補償による被爆者援護法を制定する
⑤ 原水爆禁止世界大会のこれまでの合意にもとづいて国際連帯を強化する

1 面　新春社会保障講演会講演要旨　渡辺　治
2 面　３・１ビキニデーの参加報告　桝田辰男
3 面　原発ゼロ・志賀原発廃炉を求める３・６県民集会／学習講演要旨　保母武彦
4 面　民主主義ってなんだ　高橋源一郎
5 面　平和首長会議・訪問記　神田順一
第 28 回定期総会・開催案内
6 面　「うた新まつり」へぜひ！　中村昭一
非核石川の会・参加して 20 年　北口吉治
「木の芽」　永山孝一
7 面　独標より：同い年　山口修治
編集室より
8 面　被爆者が描いた体験画展　中田喜重
絵手紙コーナー　広瀬勝子
非核平和・行事予定

◇講演要旨◇

日本の平和・憲法をめぐる情勢と私たちの課題

一橋大学名誉教授　渡辺　治

講師の渡辺治さん

二月一四日(日)午後、石川県労済会館にて石川県社会保障協議会恒例の「新春社会保障講演会」が開催され、標記のテーマで渡辺治さん（一橋大学名誉教授）の講演がありました。参加者は二〇〇名でした。

渡辺さんは戦争法成立とその後の明文改憲発言、参院選での改憲の争点化によって戦後日本は最大の岐路に立たされているとの基本的な認識を示し、なぜ安倍政権は戦争法に固執したのか、戦争法反対の運動はなぜ高揚したのか、そして戦争法廃止に向けて学ぶべき教訓は何かという三つの問いかけで、講演の流れを概説して話を始めました。

安倍政権はなぜ戦争法に執着したのか？

戦争法は安倍首相の思いつきではない。冷戦終焉以来のアメリカと日本財界の四半世紀にわたる宿願の実現＝「世界の憲兵」としての役割を「ともに血を流せ」「ただ乗りは許さない」ということで日本にも肩代わりさせたい、そのために歴代自民党政権ができなかった憲法上の制約を突破したいということだ。

安倍が目指しているのは「日本の大国化」にあり、その柱は、①戦争する国づくりのための改憲、②大企業が繁栄する強い経済、社会保障費大削減・原発の世界市場への売り込みとそのための再稼働、ＴＰＰなど新自由主義改革の実現、③国民多数が抱く戦後社会のイメージは「戦争のない平和」であり、未来社会も「平和」とともにあるとの国民意識の変革にあり、これらの政策の体系化を目指している。そして成立した戦争法制は、アメリカが行うあらゆる戦争・介入に全面的に加担

花鳥風月

国連の北朝鮮制裁強化決議があり、北朝鮮は「核・ミサイル開発の継続」で対抗を表明。フィリピンで北朝鮮の貨物船一隻が臨検を受けており、過去最大規模の米韓合同演習が始まった▼秀吉の朝鮮侵略は朝鮮王の墓や文化財を破壊し、二〇万ともいわれている人たちを日本へ拉致した▼徳川の時代になり対馬藩主は家康から戦後処理を命じられる。朝鮮の条件は「家康の謝罪」という不可能な内容であった。国交を回復したい藩主がとったのは謝罪の文書を記述した国書の偽造であった。その効あって朝鮮は「回答兼刷還使＝後の朝鮮通信使」を江戸へ十二回派遣した▼三〇年後、偽造国書が露見するが、大局を見失わない知恵で措置された。朝鮮通信使の交流が破壊されたのは明治の時代であった▼日韓の関係者が外交使節「朝鮮通信使」の関連資料をユネスコ世界記憶遺産へ共同で申請した。日本側の資料は朝鮮外交に当たった雨森芳洲の著書のほか山口、愛知、滋賀など十二都府県で保管されている四八件二〇九点。韓国側は朝鮮王朝がまとめた「通信謄録」や通信使が残した日記など六三件一二四点。申請自治体に白山市も参加している▼国際問題の解決は誠実な外交姿勢から始まると思うが、知恵者は現代にいないのだろうか。（平）

する態勢づくりである。即ち「後方支援」の口実で人殺し以外なら何でもできるようにする、「存立危機事態」なら政権が判断すれば人殺しもできる、「平時」でも情報収集、警戒監視、共同訓練し武力支援できることになっている。その結果は、世界で現実に起きている戦争に加担し、紛争の泥沼化を招くことにつながると指摘しました。

戦争法案反対！になぜ国民は、地域は立ち上がったのか？

戦争法が国会に提出された五月一五日以降、強行成立された九月一九日までの反対運動を振り返って「総がかり行動」、ＳＥＡＬＤｓなど新しい担い手が登場したこと、憲法審査会での参考人の違憲発言を契機に運動が広がったこと、国会内での政府与党の動揺や暴言を引き出し、政権をして辺野古工事を一ヶ月中断してでも巻き返しをはかり、当初八月上旬の成立を目論んでいたのを九五日間も国会を延長させた。そして八月三〇日には全国で一〇〇〇ヶ所、参加者一〇〇万人以上の大行動へと広がっていった。

この運動の高揚をつくったのは、①九〇年代以降の市民運動がイニシアチブを発揮して各政党や労働組合、宗教家・法律家・各学会など各界との共同を作り上げたこと、②日米同盟賛成者も「平和」「立憲主義」の蹂躙は許さないという立場で共同を実現させたことが大きい。この共同に励まされて、大都市だけでなく地域が頑張り、保守層の政権離れ、学生・若者と女性、そして弁護士会・学者の会などの広範な立ち上がりを促した。

その結果、法案は成立したが反対運動は継続しており、政権側は臨時国会が開会できない、通常国会でも戦争法に一言も触れられない事態になっている。しかし、この運動の成果は大きいが、政治変革を目指す運動への転化、沖縄の闘いを合流できなかったこと、くらし破壊を阻む闘いとリンクできなかったなどの限界があると指摘しました。

改憲を阻み、戦争法廃止に向けてどんなたたかいをしたらいいのか？

運動は安倍政権打倒の第二ラウンドに入った。安倍は戦争法反対の機運をそらし、「経済に集中」としながらも明文改憲、九条二項の改定まで言明して、「共同」の切り崩しを策している。そこで、①二〇〇〇万署名を武器にもっと広い層の結集を目指して、②運動が作った共同から市民連合を結成して地域の恒常的組織へ衣替えし、③戦争する国づくりとくらしの問題の両翼で、④反対のよびかけだけでなく中国の脅威、北朝鮮問題などへの現実的対案を出していくことが必要、と触れました。

最後に、「憲法は死んでいない、国民の中に確固として定着している。運動を参議院選挙へ、平和とくらしのクルマの両輪をいかにつくるか」と呼びかけて講演を結びました。

（非核いしかわ編集部）

三・一ビキニデー集会に二〇〇〇人が参加

桝田辰男

一九五四年三月一日、米国はマーシャル諸島にあるビキニ環礁にて水爆実験を行いました。水爆の威力は広島型原爆の一〇〇〇倍といわれ、マーシャル島民や操業していた焼津のマグロ漁船「第五福竜丸」をはじめ、多くの（一〇〇〇隻を超える船）船員や島民が大量の放射能をあびました。ビキニ環礁から一五〇㎞も離れて操業していた第五福竜丸にも死の灰がかかり、二三人の乗組員が被災し、半年後の一九五四年九月二三日、無線長の久保山愛吉さんが亡くなりました。

これを契機に日本国民は、原水爆禁止運動に起ち上がり、日本原水協や日本被団協が結成されました。核兵器廃絶の署名運動も全国に広がり、三二〇〇万人の署名が集まり、原水爆禁止世界大会へとつながってきたのです。

第五福竜丸をはじめ一〇〇〇隻もの漁船やマーシャル諸島の島民が被ばくしてから六二年目、今年もまた静岡市、焼津市で「三・一ビキニデー集会」に二〇〇〇人が参加して開かれました。

被爆七〇年、核兵器廃絶を望む声は大勢になっています。この流れにさからっているのは米国やロシア等の核保有国とその同盟国です。昨年五月、国連本部で開かれたＮＰＴ再検討会議に日本全国から一〇〇〇人以上（石川県から一〇名）が六三〇万筆を超える署名を持って要請行動に参加しました。

今、被爆者の皆さんが核兵器全面禁止・廃絶のための新しい署名を呼びかける準備をしています。そして昨年九月一九日、「平和安全保障法」という名前の戦争法が強行採決されました。戦争法は憲法九条が禁止する武力行使を可能にし憲法違反です。この戦争法を廃止にするため、二〇〇〇万署名を集め、安倍内閣に要求していく行動に、私も皆さんと一緒に頑張る決意です。

◇講演要旨◇

志賀原発で「科学の勝利」と「世論の勝利」を

保母武彦

島根大学名誉教授、島根原発・エネルギー問題県民連絡会事務局長

志賀原発直下の活断層の報道

原子力規制委員会の有識者会合で、一号機の建屋直下の「S－一」は〝活断層が合理的〟、二号機タービン建屋「S－六」「S－二」は〝活断層の可能性〟と判断されたと報道された。今後予想される再稼働を狙う北陸電力との争議にあたり、規制委員会・裁判所・学者をあてにする他力本願でなく、自らの行動で、「民主主義が生きていた！」と評価される住民世論の勝利を、ぜひ勝ち取っていただきたい。

福島原発の事故から学ぶこと

それは第一に、原発はエネルギーの問題である以上に〝いのちの問題〟そのものだということである。

第二に、原発は一旦事故が起これば、人間による制御は不可能となることである。原発は異質の危険そのものである。

原発再稼働の三つの問題

第一に、規制委員会は、原発施設とその運用が新規制基準を満たしているか否かの審査をすることにすぎず、合格しても絶対的な安全性が確保できるわけではない。

第二に、「避難計画」自体も実効性が疑わしい。それは福島の死者行方不明者の合計一八一四人よりも震災関連死一九七九人の方が多いという事実が雄弁に物語っている。

第三に、使用済み核燃料の最終処分方法は未定だということである。最終処分の受け入れを認める自治体はなく、その困難の現状から、地元はその受け入れの覚悟なくして再稼働の議論をすべきでない。今まで原発を後押ししてきた地元や石川での廃棄物処理と避難計画の議論は不十分である。「電力会社が言っている」は問題外である。

住民が反原発で勝利する方法

島根では、宍道湖・中海での環境保全の運動が勝利した。「始まったら止まらない公共事業」を八五％完成の段階で停止させた経験から述べたい。

そもそも前提の第一は、住民運動の存在は勝利の土台となり得るという位置づけである。その勝利の唯一の道は〝多数派になること〟であり、必要なことは全てやる！という意志による実行である。

そして第二は、環境問題の科学的予見を重視することである。陸水学会の「アオコ発生で水が汚れる」という指摘は、地域の経済・生活文化の議論に大きな影響を与えた。

具体的にしてきたこと

それは第一に、医師と寺の住職の力を借用したのである。地域で信頼されている方々の発言や説法は大きな影響を与える。環境汚染は深刻で大問題になると住民に知らせることができた。

第二に、マスコミに切れ目なく取り上げられる取り組みを行い、常に関連の話題を茶の間に届けたのである。

第三に、サンドイッチ方式を活用したということである。下からやるだけでは一部の勢力だけの印象となってなかなか動いてくれないが、上の方から保守政治家をも巻き込んだ運動となってくると大きく変化してくる。

第四は署名である。関係住民総数の過半数となると推進派も無視できなくなる。世論調査で反対が七〇％超となると動き出すものである。「地元のニーズが変わった」「私は以前から反対だった」と権力者は豹変して言い出すのである。

勝利の決め手は住民の多数派になること

これらの経験を志賀原発の運動で活かして欲しい。そして「民主主義は生きていた」と全国に報道されるものにしていただきたい。

勝利の決め手は、科学の知見（理論・政策批判）と世論をもって追い詰め、住民の多数派形成に成功することである。多政党の運動の統一も重要である。一致点で運動を統一し、広範なネットワークを作っていくことである。決して「革新」枠内の狭い運動にしてはいけない。

〝敵は少なければ少ないほど良い〟

〝味方は多ければ多いほど良い〟

のである。

（非核いしかわ編集部）

◎本稿は三月六日に開かれた「原発ゼロ・志賀原発廃炉を求める三・六県民集会」での保母武彦さんの講演要旨です。

◇講演要旨◇

民主主義ってなんだ

まだこの国をあきらめないために

高橋源一郎

作家・明治学院大学教授

今年の総会記念講演は、作家で明治学院大学教授の高橋源一郎氏を講師に、金沢都ホテルにて約三〇〇名の参加者を迎えて行われた。

◇　◇

本日の演題は、頭書の通りだが、自分の腰痛や五十肩など健康の話。大学を満期除籍された話、自分の子どもの話（氏は今六五歳だが、四三歳から、一〇歳までの五人の子どもがいて、長男が三人いる）など、話題がめまぐるしく変わるのだが、メインストリームは、「教育」で、教育を通して、民主主義って何かを考えされられるお話しであった。

下の子供の入学式の際、演壇の背後には何もなく、横に国旗が掲揚してあった。その時挨拶に立った校長は、国旗に一礼するのでなく、何もない正面に向かい一礼した。もちろん新入生も父兄も目撃している。違和感を感じたので高橋氏は、後で校長に聞いたら「わかりません」と答えた。察するに校長は、トラブルを回避する思惑で、近くに国旗がある空間に向かって挨拶したわけだ。これを見せつけられた新入生は、偉いヒトが変なことをしても、文句を言ってはダメと言う教訓を、まず植え付けられることになる。

また授業参観での、あまりのテンポの速い授業の進行に驚き、結局子供をその公立校から、信州のこどもの村学園に転校させた。そこでの教育の理念が、デモクラシーが何たるかを教えてくれた。明治維新後、政府はまず小学校と大学を整備し、中高校は後回しにした。大学は、指導者を作るため、小学校は農民を工員にするため、五〇分の授業中、椅子に座り続ける訓練のためである。結局、学校を規律、上に対する服従の訓練の場としたわけである。

この学園では、クラスなし、テストなし、宿題なし、一～六年生まで一緒。週一度小中九学年の全生徒、教員、学園長まで全員参加の集会で、校則や規則を討論して決める。決める際は一人一票平等。但し決まったことには従う。これに高橋氏は民主主義の原点をみたと言う。つまり民主主義は制度でなく教育であり、自分たちの生きている場所にあり、自分が現場に出て体験を共有するものである。何かを決める時、協力しあうのがデモクラシーである。

これは、例えば介護の現場で、認知症者と介護者の間でも民主主義が成立するとうまくいく。ヒトは年をとり寂しくなって認知症になるのであり、認知症者の徘徊は昔に戻っているのだ。介護者も被介護者を、一人の人間として接すべきである。

ここまで来ると、民主主義の拡大解釈と批判されそうだが、むしろ今まで狭く解釈し過ぎたのである。民主主義は何も政治の世界だけではない、家庭においても、恋人同士でも同じくデモクラシーがあるのだ。

◇　◇

こんな趣旨であったが、最後に感じたことを二つ指摘したい。

高橋氏は講演中、終始マイクを持って歩き回り、しゃべり続けた。これはご本人も公言されたが、多動症（ＡＤＨＤ）の行動パターンで、それはそれで大変苦労されたと察する。しかし多動症の方には、知的能力が高い方も多いと聞く。二〇歳台まで「土方」をされたが、文学界に入り、見事に才能が開花されたのだと思う。

高橋氏の「民主主義」の概念は、保険医協会が日頃から提唱している「人権を尊重する社会保障」と相通ずるものがある。講演の中でも弱い方、力のない方が、この社会での民主主義の欠落をもっとも敏感に感じているとの高橋氏の指摘も、人権の侵害と深く結びついていると思う。

◇　◇

「民主主義ってなんだ？それは人権の尊重なんだぜ！」と言うことではないか。だからこそ、国のトップ、財界人、官僚は、国民に民主主義が定着しては困るのである。人権を守る運動、ひいては民主主義社会の実現に、私たちは自信を持って邁進していこうと、本日の講演を聞いて思うところである。

（石川県保険医協会副会長　喜多徹）

◎本稿は二月二七日、金沢都ホテル地下セミナーホールで開かれた石川県保険医協会第四二回総会記念講演の要旨です。

非核・平和のひろば

◇平和首長会議・訪問記◇

県内自治体の一〇〇％加盟めざして

神田順一

平和首長会議は、一九八二年六月に開催された国連軍縮特別総会において、広島市長が「核兵器廃絶に向けての都市連帯推進計画」を提唱したことを契機に設立された組織であり、国連の経済社会理事会に登録されたNGOです。

平和首長会議では、加盟都市の市民、NGO等と連携して、二〇二〇年までの核兵器廃絶をめざす「二〇二〇ビジョン」の積極的な展開を図っています。二〇二〇年は、平均年齢が八〇歳を超えた被爆者に一人でも多く「核兵器のない世界」を見ていただくために定めた目標年次です。

◇　◇　◇

私は二月一八日、プロジェクト・ゲン二〇周年記念「はだしのゲン」翻訳者の集いin広島に参加した翌日、平和首長会議事務局（広島平和文化センター）を訪問してきました。面談いただいたのは広島市市民局国際平和推進部二〇二〇年ビジョン推進担当課長の荒瀬尚美さんと同主事の新井健人さんです。

非核の政府を求める石川の会（以下、非核石川の会）が実施した「県内自治体の二〇一五年度平和事業アンケート集計結果」と「非核平和行政施策を訪ねて（全九回）」の取材記事を事前送付していたおかげで、「平和首長会議一〇〇％の加盟促進」と「非核平和施策の拡充」につき、双方が共通の目標を持っていることを確認できました。

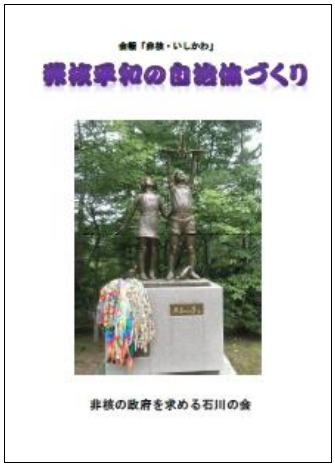
開口一番、荒瀬課長から「一月二八日、二九日に国際推進部部長と新井主事が加賀市、小松市、能美市を訪問し、各総務部長と懇談して、三市揃って来年度加盟の意向を確認できた」とのうれしい報告がありました。

平和首長会議では、より多くの自治体が加盟することにより、平和を願い、核兵器廃絶を求める機運を高めることができると全国自治体の一〇〇％加盟をめざしています。このため未加盟自治体には年三回、加盟のお願い文を郵送しており、重点自治体には直接訪問しています。恐らく三市とも四月一日乃至五月一日付で加盟手続きが行われるとのことです。

非核石川の会が、五月に実施する「二〇一六年度平和事業アンケート」では、一気に加盟自治体が一八カ所になります。残りは穴水町だけとなり、双方で協力して早期に一〇〇％達成をめざすことになりました。

◇　◇　◇

「非核平和施策の拡充」については、本年三月一日現在、国内では一六一三自治体が加盟しているが、実際に平和事業を実施しているのは約半数の八〇〇自治体です。このため平和首長会議では、加盟自治体には主体的・自主的な事業展開を期待して、二〇一五年度からメンバーシップ納付金として年間二〇〇〇円をお願いし、核兵器廃絶の国際世論を拡大するため原爆ポスター・資料展の開催やスカイプを利用した被爆証言、被爆樹木の種・苗木の育成など呼びかけています。



非核石川の会が今春発行する『非核平和の自治体づくり』パンフレットを活用して県内自治体に働きかけることを紹介してきました。

荒瀬課長からは非核石川の会のように地元自治体に熱心に働きかけを続けていることに感謝の意を表されました。

本紙二一〇号に寄稿した「平和首長会議への加盟促進による『非核平和の自治体づくり』」がいよいよ現実味を帯びてきました。

（本会事務局長）

非核の政府を求める石川の会第28回総会　ご案内

日　時　2016年6月11日（土）13：30～16：00

会　場　金沢市近江町交流プラザ　4階研修室1

第1部　記念講演「宗教者と核兵器廃絶運動（仮題）」
講師　石川県宗教者平和協議会会長　河崎俊栄さん

第2部　総会議事
・2015年度活動報告及び2016年度活動方針案
・2015年度決算報告及び2016年度予算案
・役員改選

「うた新まつり」へぜひ！

中村昭一

うたごえ新聞創刊六〇周年記念事業**『うたごえ新聞まつりinいしかわ・北陸』**が近づいてきた。四月一七日(日)午後である。関係者の一員として気忙しい日々が続いている。三月六日には石川のメンバーに福井の仲間も加わり八〇人で合同練習。最終的に百人の大合唱を目指している。メインの演奏曲は『水の旅』なのだが、『地球の九条もしくは南極賛歌』という変わった名前の曲が面白い。あの**〝南極条約〟**に密接に関わるので歌詞を記したい。

『地球の九条もしくは南極賛歌』

作詞　柴田鉄治
作曲　池辺晋一郎

一　南極は　地球の九条だ
　国境もない　軍事基地もない
　人類の理想を実現　平和の地
二　南極は　素敵な自然の楽園だ
　ペンギンがいる　アザラシがいる
　生き物が　共存共栄　豊かな地
三　南極は　宇宙に開く地球の窓だ
　オーロラがある　隕石がある
　謎を解き　未来を探る　科学の地
四　南極は　地球環境のモニターだ
　氷を掘る　オゾンを測る
　力あわせ　環境守る　モデルの地
五　南極は　地球の憲法九条だ
　戦争なくし　人類仲良く
　世界中を平和に変える　魔法の地

この歌詞は殆ど丸ごと非核の会のめざしているものと共通である。歌であれ何であれ、何らかの意思を持った表現活動は、その文化的指向性によって未来形成に大きく関わると思う。ありとあらゆる分野で、文化表現の力をして〝平和の砦〟を築くこと。それが最大の抑止力でなくて何であろうか。

石川、福井の合唱メンバーによる合同練習

非核石川の会　リレーエッセー

「非核石川の会」参加して二十年

北口吉治

日本共産党の専従活動を退職して間もなく、前事務局長の森昭さんから勧められて入会しました。

その頃は、石川の全市町村議会に「非核・平和宣言」の呼びかけを持って訪問していました。

当時は市町村合併前でしたので石川県は四二（石川県含め）自治体でした。私の記憶では野々市町議会（現野々市市）が最初でなかったかと思います。町議会議長や関係者に話をしても「他の市町村は宣言しているのか」と問われました。この活動は相当粘り強く非核三原則を訴えないと進まないと痛感しました。

しかし県内の一〇市町村が非核・平和宣言をすると二年ほどでどんどん広がり、全国的に見ても石川県の全自治体「非核・平和宣言」は早く成し遂げた方であったと自覚しています。

こうした活動は、毎年の原水爆禁止世界大会や国民平和大行進にも引き継がれていると思います。

これも多くの県民から寄せられる核廃絶と平和への思いの反映です。

今年の三・一ビキニデーの前日、高知の漁船一七隻が水爆実験で大きな被害を受けたとの報道がありました。こうした事実を明らかにしない日本政府とアメリカ政府に重大な責任があります。この問題は人道上も許せない問題です。

私たちはなんとしても、非核三原則を厳守し法制化するよう政府に求める運動を続けます。

「木の芽」

永山孝一

金沢駅西に昭和五六年完成の諸江住宅団地がある。完成した住宅団地に金沢の詩人・室生犀星の詩碑『木の芽』が建設された。当時、団地の計画委員会に参加した縁で除幕式に参加した。

木の芽

春のみどりをついと出て
ついともどれば雪がふり
冬のながさの草雲雀
あくびをすれば
木の芽吹く

「入園、入学、入社。期待と不安を胸に新しい世界へと、与えられる時空に万感の願いをこめて人は生きる…」

と綴ったのは八年前、リーマンショックの翌春のことだった。いま、ネットの世界では、ツイートへの投稿が世論を揺り動かせそうな勢いがあって、安倍政権に対する女性たちの怒りがジワジワ広がっている。

直接のきっかけは、「保育園落ちた日本死ね！！！」という匿名ブログで、二月中旬に書き込まれると、同じ境遇の母親や同様の経験をした女性らを中心に共感が拡大。国会でも取り上げられ、三月五日には国会前でプラカードを掲げた抗議行動にまで発展した。

ブログの中身は強烈だ。――〈何なんだよ日本。一億総活躍社会じゃねーのかよ。昨日見事に保育園落ちたわ。どうすんだよ私活躍出来ねーじゃねーか〉〈オリンピックで何百億円無駄に使ってんだよ。有名なデザイナーに払う金あるなら保育園作れよ〉〈不倫したり賄賂受け取ったりウチワ作ってるやつ見繕って国会議員を半分位クビにすりゃ財源作れるだろ〉（日刊ゲンダイ・デジタル）

それから八回目、日本の春。「春は曙」（枕草子）と人は言うが、いまでは「夕暮れ」ではないか？。「…まいて雁などのつらねたるが、いと小さく見ゆるはいとをかし」などと興じ入ることさえ許さない現実がある。

失われた二〇年。「雇用者報酬が減っている唯一の国が日本」――なぜこんな日本になってしまったか？（平井一隆三月四日）。このような政治・経済状況が続けば、国民生活の基盤である「経済」ばかりか、世界に誇る日本の「文化」さえも、早晩、廃れてゆくことは火を見るより明らかだ。

詩人会議かなざわ「独標」より

同い年

山口修治

おいらは　１９５１年７月６日
福井県の山奥で生まれた
あいつは　同い年の９月８日
アメリカのサンフランシスコで生まれ
日本にやってきた

おいらは10歳の時
友だちと川で岩魚を捕っていたけれど
あいつは東京で日本の大人と大ゲンカして
生まれた時にした五つの約束を
十の約束に変更して
少しすりむいたけど
あいつは勝った

おいらが板前見習いの20歳の時
あいつは再び日本の大人とケンカしたが
すりむくこともなく勝った

おいらは24歳の時に
初めてあいつのことを知った
主権者である日本国民に内緒で生まれ
無理やり日本にやってきて住みついた
ことを

今　あいつの無法な振る舞いで
一番苦しんでいるのは沖縄の人たち
そして
九州にも四国にも本州にも北海道にも
そして
アフガニスタンやイラクなどにも

無理やりさせられたあいつとの約束
約束といえない約束
10番目の約束を使ってきっぱり縁を切ろう

そして　あいつが改心したら
対等平等な約束をして仲直りしよう
そうしよう　そうしよう

《編集室より》

◎三月九日、大津地裁（山本善彦裁判長）は関西電力高浜原発三号機、四号機（福井県高浜町）の運転を差し止める仮処分決定を行い、原子炉が停止した。稼働中の原発を司法が止めたのは初めてであり、福島原発事故後の原子力規制委員会の新規制基準に適合した原発を止めたのも初めてである。

大津地裁の仮処分決定は、原発の安全性をめぐり①過酷事故対策、②外部電源に依拠する緊急時の対応方法、③耐震性能決定における基準値震動策定、④津波に関する安全性の確保、⑤避難計画について疑問があり、関電は福島原発事故を踏まえた原子力規制行政の変化や、原発の設計や運転への規制強化にどのように対応したか主張及び証明を尽くすべきと指摘している。

原発の再稼働の地元同意の手続きは立地自治体だけであるが、今回の大津地裁決定はより広範囲な周辺自治体の住民の権利を認めた画期的な判断であり、全国の原発訴訟に波及することを切望したい。

大津地裁では美浜、大飯、高浜の三原発を対象にして本訴訟も同じ裁判長の担当にて進行中である。（か）

「被爆者が描いた体験画展」⑱

石川県原爆被災者友の会　中田喜重

原爆ドーム

これは広島県産業奨励館。昭和二〇年八月六日、原爆炸裂のほぼ直下で被爆し、大破全焼。本屋中心部のみ、残骸をとどめた。

「祈り」

広島市千田町附近の土手にて

その年の夏は殊更暑く、年老いた母は朝早くから一日汗を流したが、娘の亡骸を覆いつくす薪は集まらなかった。

絵手紙コーナー

金沢医療生協絵手紙班　広瀬勝子

≪非核平和・行事予定≫

月	日	曜	時	内容	場所
4	6	水	12:30	核兵器廃絶署名6・9行動	金沢市武蔵町Mza前
	8	金	14:00	国民平和大行進実行委員会	石川県平和と労働会館
	17	日	14:00	うたごえ新聞まつりinいしかわ・北陸	石川県立音楽堂邦楽ホール
	19	火	16:00	戦争法廃止！憲法改悪阻止！ピーステント	金沢市四高記念公園・中央口
	27	火	12:50	戦争法廃止・昼デモ	金沢市四高記念公園・教育会館前口
5	3	火・休	13:30	平和憲法施行69周年記念石川県民集会（講師　中野晃一さん）	金沢市本多の森ホール
	6	金	12:00	核兵器廃絶署名6・9行動	金沢市武蔵町Mza前
	11	水	12:50	戦争法廃止・昼デモ	金沢市四高記念公園・教育会館前口
	19	木	16:00	戦争法廃止！憲法改悪阻止！ピーステント	金沢市四高記念公園・中央口
	22	日	10:00	「被爆2世として生きる」山口県被爆2世の会 寺中正樹・千尋さん	金沢市松ヶ枝福祉館1階いきがい活動室
	25	水	12:50	戦争法廃止・昼デモ	金沢市四高記念公園・教育会館前口
	29	日	13:00	石川県社会保障推進協議会総会・記念講演(講師　藤田孝展さん)	金沢市松ヶ枝福祉館4階集会室
6	8	水	12:50	戦争法廃止・昼デモ	金沢市四高記念公園・教育会館前口
	9	木	12:00	核兵器廃絶署名6・9行動	金沢市武蔵町Mza前
	11	土	13:30	非核の政府を求める石川の会総会と記念講演(講師 川崎俊栄さん)	金沢市近江町交流プラザ4階集会室
	12日（日）～17日（金）			核兵器廃絶国民平和大行進・能登コース	輪島市出発～内灘町まで
	18日（土）～24日（金）			核兵器廃絶国民平和大行進・富山ー広島コース	石川県津幡町つづら折り～福井県吉崎町
	19	日	14:00	戦争法廃止・ピーステント・集会・デモ行進	金沢市四高記念公園・中央口
	22	水	12:50	戦争法廃止・昼デモ	金沢市四高記念公園・教育会館前口

＊ 祝日は休日としています　＊毎週金曜日18：30　どいね原発アピール行動　金沢駅東口

＊ 戦争法廃止！昼デモ　隔週水曜日に行動

＊「戦争法廃止・ピーステント」は、毎月19日（強行可決された日）に・2016年7月の参議院選挙まで実施されます